

ふくいの生協カカ

福井県生活協同組合連合会

〒910-8557 福井市開発町第2号1番1(県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2013年8月9日 No.100

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

GENERAL MEETING 県連総会 6月6日(木)



福井県国際交流会館において第38回福井県生協連合会通常総会を開催しました。

当日は、福井県安全環境部企画幹 森川泰司氏、関西地連事務局 小林紀久子氏にご来賓としてご祝辞をいただきました。

開会宣言に続き、理事会を代表して藤川会長理事が挨拶し、以下の議案が可決決定されました。

提案された議案

- 第1号議案 2012年度活動報告承認の件
- 第2号議案 2012年度決算及び剰余金処分案承認の件
- 第3号議案 2013年度活動方針及び収支予算決定の件
- 第4号議案 監事監査規則設定の件
- 第5号議案 役員(理事9名、監事2名)選任の件
- 第6号議案 議案決議効力発生の件

なお、本総会の終結をもって理事及び監事全員が任期満了となりました。福井県生協連合会の理事・会長理事として長い間お骨折りをいただきました藤川武夫氏が、今回をもって退任され、新会長理事として竹生正人氏(福井県民生協理事長)が理事会において選任されました。



新役員紹介(敬称略)

理事9名 監事2名

会長理事 竹生正人 (福井県民生協 理事長)

副会長理事 後本康裕 (福井県労済生協 専務理事)

副会長理事 田中秀穂 (菅浜生協 理事長)

専務理事 横尾智恵子 (員外福井県民生協 地域NW支援次長)

理 事 山内利鞠 (福井県庁生協 常務理事)

理 事 島田芳文 (福井県学校生協 専務理事)

理 事 野尻郁智 (福井大学生協 専務理事)

理 事 田中光顕 (福井県医療生協 専務理事)

理 事 松宮幹雄 (福井県民生協 専務理事)

監 事 高村隆一 (福井県庁生協 理事)

監 事 野田晋三 (福井県学校生協 部長)

福井県生協連合会の理事・会長理事として長い間お骨折りをいただきました藤川武夫氏および監事の紙屋敏夫氏・楚郷正道氏が退任されました。今までのご尽力に心から感謝申し上げます。

会長理事 就任挨拶



東日本大震災から2年余りが過ぎました。この間、全国の生協の仲間とともに会員生協を挙げて被災地の支援に取り組んでまいりましたが、復興は遅々として進んでいないのが実情です。震災の記憶を風化させることなく、これからも継続した取り組みをお願いする次第です。



さて、昨年は「国際協同組合年」として、県内の協同組合や会員生協と連携しまさざまな活動を展開してまいりました。昨年秋の臨時ICA大会で決定された「協同組合の10年計画」の趣旨を受け止め、県連として引き続き協同組合および生協の社会的認知度を高めるとともに、消費者力の向上・防災・ボランティア活動などの面で生協の社会的な役割を積極的に發揮していきたいと考えております。

14年度から予定される消費税増税、食料品価格や電気料金のアップなど組合員の暮らしをめぐる状況は一層厳しさを増しています。県内7つの会員生協の持つ機能と知恵を結集し、組合員に役立つ生協の事業と運動を開拓していくことが求められています。会員生協の皆様方のご健闘をお祈りするとともに、今後とも県連活動へのご協力をお願いしご挨拶とさせていただきます。

2013年

会員生協総(代)会議案書 ダイジェスト

第56回 通常総代会
2013年6月15日(土)
13:30 ~
(財)福井県教育センター
4階 大ホール

「利用される」「求められる」
「顔のみえる」学校生協を目指して

平成25年6月15日
(土)午後1時30分より、(財)福井県教育センター4階大ホールにて、第56回通常総代会が開催され、当日はお忙しい中

各支部より多数の総代のご出席をいただき、6つの議案が承認されました。

総代会にて承認いただきました「2013年度基本方針・事業計画」に基づき事業を遂行します。社会・経済状況は依然として厳しさはありますが、内部統制を引き続き整備し、さらに部門別リスク発生の対策等について、今後も見直し作業を行います。2013年～2015年の3ヶ年における具体的活動計画として「第17次中期3ヶ年経営計画」を策定し、特に組合員から信頼される職域生協として「利用される学校生協」、「求められる学校生協」、「顔のみえる学校生協」を目指して参ります。

A bill book digest of consumers' cooperative
A bill book digest of consumers' cooperative

第35回 通常総代会

2013年6月27日(木) 10:00 ~
県民せいきょう本部センター

創立35周年を迎えました

6月27日(木)、県民せいきょう本部センターで、第35回通常総代会を開催しました。当日は246人(採決時の出席人数)の総代のみなさんに参加いただきました。

竹生理事長からは、東日本大震災支援に対する御礼のほか、今年は創立35周年を迎えて改めて創立の原点を見つめ直し、これからも組合員の参加・参画、つながりを大切に社会的役割を果たしていくことなどの挨拶がありました。また、ご来賓として西川福井県知事よりご挨拶を頂戴しました。

議事では、2012年度の活動報告・決算報告の後、監査報告がされました。続いて、2013年度の活動方針・事業計画、定款の一部変更、役員選任、役員報酬決定、役員退職金支給について提案されました。

福井県労済生協の総代会は、7月30日に開催されました。次号に掲載します。

第36回 通常総代会
2013年6月16日(日)
9:30 ~
鯖江市嚮陽会館

安心して住み続けられる
まちづくりを目指します

福井県医療生協の第36回通常総代会が、6月16日に鯖江市嚮陽会館において開催され、「2012年度活動のまとめと事業報告及び決算承認の件」をはじめとする全議案を賛成多数で採択しました。

福井県医療生協は、この一年間、東日本大震災支援・原発ゼロ・組織強化に取り組み、ひとり一人の組合員と結びつきを強め「いのちとくらしを守る」まちづくりをめざしてきました。「健康チェック」は開始より960回、1万6千人以上の方が参加され、みなさんの健康不安に寄り添ってきました。本年度は引き続き地域で旺盛に健康チェックに取り組みます。

県民の中にも貧困と格差が広がり、生活保護受給者が過去最高を記録しました。格差と貧困が広がる中で多くの支部で一人暮らし高齢者訪問が進められ、「地域から安心と信頼」を寄せられました。今年度も全組合員と対話を進め医療生協の役割を發揮し、安心して住み続けられるまちづくりをめざします。



提案された議案について10人の総代より発言いただき、出された質問や意見に対して、役員より回答した後、決議に入りました。

書面議決書による出席242人を含む、488人の総代の出席により、6議案全てが賛成多数で可決されました。

2013年度の位置づけ

1. 県民生協は創立35周年を迎え、組合員と地域社会に感謝し、より一層お役立ちできる生協をめざします。
2. 第8次中期計画後半期プラン実現に向け、経営基盤を再確立するスタートの年とします。
3. 6Sと3現*で基本の徹底を継続し、事業ネットワーク利用の強化と組合員満足度をさらに高める年とします。
*6Sと3現: 整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・接遇の基本の徹底を図ることと、実際に「現場」で「現物」を観察して「現実」を認識すること。

第56回 通常総代会
2013年6月25日(火)
13:30 ~
国際交流会館 会議室

事業内容の抜本的改革を提言



第56回通常総代会は、6月25日(火)国際交流会館会議室において、開催されました。

小川理事長の開会挨拶の後、福井県安全環境部県民安全課藤井課長、福井県生協連合会竹生会長からのご祝辞をいただき、恐竜博物館総代の大川氏を議長に選任し、各議案について審議を行いました。

2012年度は、様々な商品やサービスを通じて組合員の職場生活を支え、利便性の向上にお役立ちできる事業展開を行ってきました。しかし、組合員の職場環境も大きく様変わりしたことにより、店舗来店者の減少、公用品の受注が大きく減少し、店舗供給は縮小を続けています。

このような状況の中でも、『食材のヨシケイ』の利用者増加、各市町への迎春企画紹介などの要因により、共同購入の供給高は伸長しました。

2013年度事業計画については、まだまだ厳しさが続くと予想される中、それぞれの部門の見直し強化を図り役職員一丸となりながら、次年度こそは黒字決算となるよう事業内容の抜本的見直しをすすめ、組合員のお役に立てる生協の存在をめざします。



「食の安全とくらしの安心で、
地域へのお役立ち」テーマに

第59回 通常総代会
2013年5月28日(火) 18:10 ~
教育地域科学部1号館 大2講義室

設立50周年を迎えました

総代総数110名うち、本人出席38名、書面出席43名、代理出席2名、合計83名の出席でした。

耐震工事での文京キャンパスカフェテリア『味菜』の休業と新規出店費用により、約1億2千万円の投資を行ったことにより、12年度は大きな欠損金となり、積立金の取り崩しを行う剩余金処分案を総代会に提案し、承認いただきました。13年度は引き続き赤字予算を設定していますが、当初計画を前倒して黒字化を目指しています。



福井
大学生協

第43回 通常総会
2013年2月11日(月) 10:00 ~
菅浜農改センター

全ての議案が可決承認

去る、2月11日(月)菅浜農改センターに於いて第43回通常総会を開催致しました。

当日は招集組合員123名中、出席82名、委任状4名、書面議決書11名、欠席26名で全ての議案が原案通り可決承認されました。

お陰様で当期利益は何か120万円を計上する事が出来ました。しかしながら、事業部門(利用事業及びその他事業)では90万円の赤字となっており、事業外収益で利益の確保を保っているのが現状です。今年度は電気料金の値上げや店舗の老朽部分の改修費用も必要になってきます。25年度の収支計画達成のために組合員の皆様の更なるご利用を宜しくお願い致します。又、今年度は役員改選の年であり新理事5名、監事2名が信任されました。



菅浜生協



ポストIYCの取り組みとして
県内の協同組合(農協、生協、漁協、森連)が分担して、昨年に
引き続き福井県立大学の学生
を対象に出前講義(各90分)を
実施しています。

福井県生協連は、去る7月1日
(月)に3年生約40人に対して講義を行いました。「協同組合って?」
「生協って?」の基本知識をおさえた後、生協が組合員のくらしだけでなく地域や社会、地球環境をよりよくするために地域や職場、学校などで事業・活動していることを、パワーポイントで具体的な例を示しながら話すすめました。



役職員学習会報告

「食の安全安心のウソ・ホント」

講師:松永和紀氏(科学ライター)



講師の松永先生は、食品はもともといろんなリスクを持っているものであり、現在は科学的な研究がすんで、「食の安全」をさまざまな観点から管理しなければならなくなった時代になったと説き、昔の経験や印象による思い込みにとらわれず、現在の適切な情報を得て総合的な判断をして行動できる力「科学の読み書きそろばん力」をつけよう、と呼びかけられました。

一般県民や会員生協役職員の皆様をはじめ、学校の先生や福井県行政・北陸農政局の方々など、132名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

【日 時】7月6日(土)
【場 所】福井県国際交流会館



科学の読み書きそろばん力をつける10力条

「メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学」
(光文社新書)より

- 1. 懐疑主義を貫き、多様な情報を収集して自分で判断する
- 2. 「〇〇を食べれば…」というような単純な情報は排除する
- 3. 「危険」「効く」など極端な情報はまず、警戒する
- 4. その情報がだれが利するか、考える
- 5. 体験談、感情的な訴えには冷静に対処する
- 6. 発表された「場」に注目する。学術論文ならば、信頼性は比較的高い
- 7. 問題にされている「量」に注目する
- 8. 問題にされている事象が発生する条件、特に人に当たるかを考える
- 9. 他のものと比較する目を持つ
- 10. 新しい情報に応じて柔軟に考えを変えてゆく

13年度 第1回 災害ボランティアバス運行

福井県民生協・未来ビレッジJAPAN共催

6月21日(金)夜出発～6月23日(日)夜帰福



福井県民生協では、東日本大震災被災地支援として、NPO法人と共に災害ボランティアバスを運行しました。

会員生協組合員・職員8名(学校生協2名、県民生協6名)が参加して、宮城県石巻市小渕浜で現地ボランティア支援団体と連携して活動しました。

仮設住宅でのプランター菜園講習会のお手伝いや周辺の草取り、古民家再生プロジェクトに参加しました。第2回は9月27日(金)夜出発～29日(日)夜帰福の予定です。

参加者の感想

震災から2年以上が経過し、一見環境は良くなっているように感じますが、まだまだ仮設暮らしの方も多く、瓦礫の山も残っていて、不便な生活を強いられていることはたくさんあります。支援と交流という形で、現地の人に笑顔になってもらう、そのため自分達も笑顔で接する、そういう活動がこれから必要になってくるのではと思いました。

わかめの海、宮城県石巻市は、漁業が再開し漁獲高が前年度を上回る程海は回復しているそうです。石巻市の漁師さんにお聞きしたところ、わかめは放射能不検出とのことでいた。食の安全を提供する我々生協職員は、こういった風評被害の支援も今後行っていかなければならないと感じました。

弁護士による

『暮らしの無料法律相談会』を開催します!

予約制です。福井県民どなたでも
お申込みいただけます。

事前予約による個別面談相談(お一人当たり30分程度)です。
ささいなことでもお気軽にご相談ください。弁護士がアドバイスいたします。

時間:10時～16時

日 時	場 所	相 談 事 例
10月 12日(土)	ハーツ志比口	家族間の問題(相続、親権、後見、離婚など)、契約トラブル、金銭トラブル、借金・多重債務、職場のトラブル(セクハラ、パワハラ)などに関するご相談。
11月 16日(土)	ハーツはるえ	

お問い合わせ
事前予約受付

0776-52-0626 (公社)ふくい・くらしの研究所

主催／福井県生活協同組合連合会、(公社)ふくい・くらしの研究所、
福井県民生活協同組合 後援／福井県



第17回 Coast Cleaning 海岸クリーンアップ ボランティア募集

① 9月 7日(土) 10:00～11:10
鷹巣海水浴場

② 9月14日(土) 午前中
三国サンセットビーチ

(地元の地引き網体験とのコラボ企画となり、時間未定)

※海岸清掃終了後は、みんなでゴミを分別し、集積します。
お申込み・お問い合わせは福井県生協連合会まで

協賛 福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会